

地域密着、
身近な話題を
体験取材!

まちかど

特派員だより

Youは、何しに上平公園に？

人気テレビ番組のフレーズを真似て、上平公園に来ていた4人に聞いてみました。

まずは、芝生広場にある階段を勢いよく上がって来た、83歳の男性に「Youは、何しにこの公園に？」と聞いてみました。「園内を2、3周歩いてから、ラジオ体操友の会の人たちとストレッチとラジオ体操をしています。好きなゴルフがいつまでもできるようにね。ほとんど毎日来ていますよ」。ラジオ体操友の会は、上平公園開設と前後してできた会でYouは、自称号令係だそうです。



写真1 背伸ばし器



写真2 踏み石

次に、北口のクラブハウスの近くにある体を反らすためのローラーの付いた装置(写

真1)で、思い切り背中を伸ばしていた、80代の女性に「Youは、何しにこの公園に？」と聞いてみました。「公園の中を歩いてから、ここで背中を伸ばしていくと調子が良いんですよ。これを2日怠ると、背中が重くてね。硬い感じがするんですよ。ですから、なるべく来るようにしています」。

続いて、北口から入り野球場に向かうと、右側にある踏み石(健康平板舗装(写真2))をゆっくり歩くように踏んでいた83歳の男性に「Youは、何しにこの公園に？」と聞いてみました。「公園に来たら、まず園内を1周して、それからこれを踏んで帰るんです。そこに効能書きがありますが、私は腎臓に効くというところをよく踏みます。そうすると、すごく体が軽くなり、体調が良くなるんです。だから、これをやり日に毎日のように来ていますね」。

最後に、青空が高く感じる朝、芝生広場から天に届くよ

上平地区
くわがたけいぞう
鍛形 圭造さん



うな声が聞こえてきたので近づくと、男性4人、女性5人が、大きな輪になって交互に歌っていました。代表の人に「Youは、何しにこの公園に？」と聞いてみました。「私たちは詩吟の会です。新型コロナウイルスの影響で公民館が使えず、ずっとリモートで練習していたんですが、生徒さんから仲間の顔が見たいとか、みんなで集まりたいという声があり、ここへ来ました。青空の下で吟じるのは初めてですが、気持ちが良いと生徒さんにも好評ですので、また計画したいと思っています」。

このYouは、詩吟の宗家だそうです。

この日、上平公園で出会った人たちは、体に不調がある人は自分で健康法を見つけて改善したり、元気な人は健康を持続するための努力をしたりしていました。答えてくださった皆さん、有意義な声を聞かせていただき、ありがとうございました。

※取材は、昨年の秋ごろに行いました。

市民の情報交流スポット



アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集[おいでください]と、各団体のサークル会員募集[いきいきサークル]を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



おいでください

■伝統文化上尾いけばなこども教室

4月24日(土)～令和4年2月26日(土)おおむね第4(土)10:15～11:00(全10回)、谷津公民館 定15人 費1回1,500円(花代含む)
4月20日(火)まで 中島080-5487-9057
ひと言! いけばなを通して、四季の豊かさを感じましょう。

■大人のための英会話講座初級 4月27日～6月22日(5月4日を除く)毎週(火)18:15～19:15(全8回)、文化センター 定12

人(先着順) 費5,000円 4月20日(火)まで 前田090-6489-2803(平日11:00～16:00) ひと言! 外国人講師と簡単な基礎会話を楽しく学びます。

いきいきサークル

●ブルースカイ・パソコンサークル 毎月2・3回(休)など9:50～11:50、県民活動総合センター 費月額2,000円・年会費2,000円 大石0774-1359(9:00～12:00) ひと言! ワードやエクセル、インターネット等について学びます。



定…定員 定…対象 費…費用 持…持ち物 当…当日、直接会場へ 申…申し込み



水しぶきを上げて滑走する小川さん

「自分の走るレースで観客を楽しませたい。水上のプロスポーツとして多くの人にボートレースを知ってもらいたい」と、夢と希望に満ちあふれた表情で語るのは、上尾高校出身の元高校球児で昨年11月に20歳でプロボートレーサーとしてデビューした小川竜太郎さんです。

「ボートレースの存在は家にあつた漫画で知っていて興味はありましたが、最初から目指していた訳ではないです」と話す小川さんは、小学校から高校まで野球一筋でした。その実力は確かなもので、2018(平成30)年に行われた「第100回全国高等学校野球選手権記念北埼玉大会」で上尾高校のレギュラーとして出場していました。惜しくも決勝戦で花咲徳栄高校に敗れてしまい甲子園出場の夢は果たせませんでした。が、「監督や仲間にも恵まれ充実した野球生活を送ることができた」と当時を振り返ります。

好きな野球に打ち込む生活を送った小川さん。卒業後も大学に行って野球をやるつもりでしたが、「大学卒業後はどうするの?」と母から言われた一言に動揺

スポット ライト

～人・仲間～



おがわりようたろう
小川 竜太郎さん
(中妻在住)

SPOT LIGHT
The life of a great person

舞台は地上から水上へ

20歳のプロボートレーサー

する自分がいました。なぜなら「大学卒業後も野球選手として続けていきたい」と即答できなかつたからです。その日から自分のやりたいことを模索するようになった小川さん。悩む中で、もともと興味のあるボートレースを父と見に行きました。その時、水しぶきの迫力やレースの駆け引きなどを肌で感じ、ボートレーサーの道を目指すことを決意しました。「直感でしたね」と笑顔で話します。

迷いがなくなり、進路を決めた小川さんは、高校卒業後、ボートレーサーの知識や技術を学ぶため、地元上尾を離れ福岡にあるボートレーサーの養成所で1年間を過ごします。「規律が厳しく、くじけそうになったが、野球生活で培つた忍耐力で乗り切れた」と力強く語ります。そして昨年11月地元埼玉の戸田でボートレーサーとしての一步を踏み出しました。

「人生初のレースはあつたという間に終わり、自分の力が全然出せなかつた」と悔しさを口にする小川さんでしたが、ことし1月に出場した「第51回埼玉選手権・スポーツニッポン杯争奪戦」では同期最速で初勝利をあげました。「目標にしていた、初勝利を同期最速であげることができたことは大きな自信になりました」と話します。

まだまだ、ボートレーサーとして歩み始めたばかり。「技術と経験を積み重ね大好きな上尾をPRできるような選手になります」と語る小川さんを応援していきます。



「クイズ アッピーを探そう!」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は3月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



表紙・特集 あげおの桜 季節到来

- ゆりが丘公園は過去に数回訪れましたが、表紙のように鮮やかに撮影することはできませんでした。ことしは外出もままならないので、ARを活用します。(60代・女性)
- コロナ禍の中、桜の花が待ち遠しい季節になりました。ARによる上尾の桜を存分に楽しませてください。(60代・男性)

ARの桜を楽しんでいただけうれしいです。密を避けて市内の桜を楽しんでください。



イチ面 有害ごみ(危険物)の分別の徹底にご協力を

- 有害ごみの分別の正しい捨て方などが再確認できました。(60代・女性)
- 有害ごみの分別が分かりやすかったです。今後も十分に注意します。(80代・男性)

引き続き、有害ごみ(危険物)の分別にご協力をお願いします。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。